

ガルヴェストン (2018)

GALVESTON

メディア 映画
ジャンル サスペンス ドラマ 犯罪
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 91分
初公開日 2019/05/17
公開情報 クロックワークス
映倫 PG12

【キャッチコピー】
男は死に場所を求め、
女は生きる希望に縋った――

【解説】
人気ドラマ「TRUE DETECTIVE／トゥルー・ディテクティブ」の脚本家ニック・ピゾラットのハードボイルド小説『逃亡のガルヴェストン』を「最後の追跡」のベン・フォスターと「メアリーの総て」のエル・ファニングの共演で映画化したクライム・ドラマ。死期を悟った殺し屋と娼婦に身を落とした若い家出娘が繰り広げる逃避行を描く。監督はフランスを代表する女優の一人で、近年は監督業でも活躍めざましいメラニー・ロラン。
長年、裏社会で生きてきた男ロイ。ある日、ガンを宣告され、自らの死が近いことを覚悟する。運命を受け入れつつも、苟立ちは募るばかり。そんな時、組織に裏切られ、ボスが送り込んだ殺し屋の待ち伏せに遭う。なんとか相手を殺したロイは、その場に囚われていた若い女に気づき、彼女と一緒に逃亡を図る。ロッキーと名乗るその女は、生活のために体を売っていた家出娘で、他に頼るあてもないという。組織に追われる身となってしまったロイだったが、そんなロッキーを見捨てることができない。こうしてひよんな成り行きから、ロッキーを連れて、危険な逃避行へと繰り出すハメになるロイだったが…。

【クレジット】

監督	メラニー・ロラン	Melanie Laurent
製作	タイラー・デヴィッドソン	Tyler Davidson
製作総指揮	ジーン・ドゥーマニアン	Jean Doumanian
	パトリック・デイリー	Patrick Daly
	ケヴィン・フラニガン	Kevin Flanigan
	デクスター・W・ブラフ	Dexter W. Braff
	ショーン・オブライエン	Sean O'Brien
原作	ニック・ピゾラット	Nic Pizzolatto
脚本	ジム・ハメット	Jim Hammett
撮影	アルノー・ポージェ	Arnaud Potier
プロダクションデザイン	リサ・マイヤーズ	Lisa Myers
衣装デザイン	リネット・マイヤー	Lynette Meyer
編集	ジョセフ・クリングス	Joseph Krings
音楽	マルク・シュアラン	Marc Chouarain

『逃亡のガルヴェ
ストン』（早川
書房刊）

出演

ユージェニー・ジェイコブソン	Eugenie Jacobson	
ベン・フォスター	Ben Foster	ロイ
エル・ファニング	Elle Fanning	ロッキー
リリ・ラインハート	Lili Reinhart	
アデペロ・オデュエ	Adepero Oduye	
ロバート・アラマヨ	Robert Aramayo	
マリア・バルベルデ	Maria Valverde	
C K・マクファーランド	CK McFarland	
ボー・ブリッジス	Beau Bridges	